

東京&東京 CW コンテスト 2023

de J A 1 R I Z

今年も瑞穂町からだ。もちろん、マル秘ポイントからである。

参加部門は5月も10月も、28MHzのCW部門。富山 OM が言っていたが、PC の力を借りると FONE 部門より楽だからでもある。おしゃべりするのには意外と労力がある。今回の送信電力も QRP/5W だった。今回は 50W で出してみようと思ったが。これはポータブル電源の実力評価を確認する意図もあった。フルタイム・フルパワーで QRV した時、電源がどれだけ持つか？を知りたかった。

09:00 戦闘開始だ！まずは、BAND の状況を確認すると各局が強力に入感している。28.070 から上の周波数は FT8 などのデータ信号が出ていてそれから下の方へ QSYしながら呼びに回る。呼びに回っている局を観察すると、低い方の周波数から高い方へ呼んで回る局が多いようだ。又、それらの局は強力な局が多く、競り負けてしまうことが多い。こちらの設備は、GL から 4.5mHeight の DP のプアな設備である。よって、上から下へと QSYしながら呼ぶようにしている。

さすがに5W送信では、応答率が良くない。パワーの 10dB 差の威力は大きい。順に呼んでいくと友情交信局(?) になっている JM1W** 局もいて、下のバンドエッジ 28.050 までひと通り呼ぶ。その後、50MHz 帯に QSY して探すといつもの JM1L** もいて友情交信。又、28 に戻り呼びに回るが、ほとんど 2nd の局ばかり。少し弱めの局も呼ぶと、応答のある局がほとんどだが、応答の無い局もある。こちらとは余程のパワー差があつてこちらでは聞こえるが、相手には聞こえない状態なのか、受信ノイズが多い環境なのか、はた又、送受の周波数がズレのためか・・・いろいろ想像しつつ、また、めげない様に気持ちを整理しつつコールする。新局が見つからなくなると、いよいよ CQ だ。

CQ TK TEST de JA1RIZ/1 K の連呼である。MY信号は、ロケーション・設備などからみて、か細い信号であることは間違いない！だが、猛者連からはけっこう呼ばれたりする。特にマルチバンドにエントリーしている局は良く探し回っているせいかなあと思う。

初めにCQを出すときは勇気がいる、と云われるが誰でもはじめはそうかもです。CWではなおさらそうだと思います。初めにCQを出したのはコンテストのときでなく、普通のQSOの時でしたが冷や汗が出たものです。取れないほど高速で打たれたらどうしよう・・・オーバーシーから呼ばれたらどうしよう等々。心配はつきものだが、出せば何とかなるもので、わからなければ「QRZ？」とか「AGN」(もう一度送って!)を送れば良いのだ。これは、コンテストのときもそうなのだ。

コンテストのとき、結構スロースピードで参加している局もいるが、結構呼ばれていたりする。コンテスト上位局は、こういう局も拾い集めて高得点に結びつけているのではなかろうか。要はマイペースで望めば良いというわけ。

話が脱線気味になりましたが、東京コンテストでは5月度は 43 QSO、10月は 29 QSOと遊ばせて頂きました。

細々とですが、ローパワーを嘆かず各局のお耳のテストマンとして、そして、みずからも楽しんで、参加し続けていきたいと思います。

【2023年参加コンテスト】①埼玉コン(1月) ②関東UHF(2月) ③ALL-JA(4月) ④東京コン(5月)
⑤6m&D(7月) ⑥FDコン(8月) ⑦ACAG(10月) ⑧電気通信コン(10月) ⑨鶴見川コン(11月)
⑩多摩川コン(11月) ⑪東京UHF(11月) (以上)